

広島ゆかりのアニメーション

2019年8月22日(木)～25日(日)



平成31年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
共催/NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー
協力/広島市、広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、ANT-Hiroshima



この男子、石化に悩んでいます。 ©Soubi Yamamoto / CoMix Wave Films



かつ飛ばせ！ドリーマーズ -カーブ誕生物語-



アマイとサダコの祈り



ヒロシマに一番電車が走った ©2005 NHK

1970年代後半から現在まで、平和への願いがこめられた広島ゆかりのアニメーションが作られ続け、最近では、戦中の呉や広島を描いた片淵須直監督の『この世界の片隅に』が大ヒットし、広島とアニメーションとの関わりを強く印象づけました。また、「愛と平和」の精神のもと、1985年に始まった広島国際アニメーションフェスティバルは、国際交流と新しい都市文化の形成に欠かせない映画祭として定着してきました。

本特集では、広島とアニメーションとの関わりを再発見すべく、来年8月に開催される第18回広島国際アニメーションフェスティバルの1年前イベントとして、被爆体験をテーマにしたアニメーション、戦後の広島の復興を描いた作品、広島出身の若手アニメーション作家の作品など、広島ゆかりのアニメーションを上映します。

あわせて、過去の広島アニメーションフェスティバル受賞作品を上映し、フェスティバルを紹介するパネル展も行います。アニメーションを、広島の新しい都市文化の一つとして捉え直す機会となれば幸いです。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

- 8/22(木)「ピカドン」「はだしのゲン」
- 8/23(金)「ヒロシマに一番電車が走った」「はだしのゲン2」
- 8/24(土)「アマイとサダコの祈り」「かつ飛ばせ！ドリーマーズ -カーブ誕生物語-」
- 8/25(日)「この男子、石化に悩んでいます。」「ジュノー」

8月は平成生まれの方は映画鑑賞料が無料です！

2019年8月は、映像文化ライブラリーのすべての上映会で、平成生まれの方は映画鑑賞料が無料になります。学生証、運転免許証、健康保険証など生年月日を確認できる身分証明書をお見せください。

広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間:火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日